



日本笑い学会関東支部第306回研究会



# 川柳の笑い～江戸から令和まで～

## 【講演概要】

川柳は、「笑いの文芸」などという人がいますが、巷で認識されている川柳は、「サラ川」が主にイメージされ、「俳句の面白いやつ」とか「ふざけた俳句」などといったクスグリの笑いばかりが持て囃されます。

しかし、江戸に発祥した古川柳や明治以後に興った近代川柳は、更に幅広い笑いを要素として持つ文芸の一面があります。江戸から令和までの作品を通して、川柳が表現してきた笑いを御一緒に辿ってみましょう。

## 【講師紹介】

十六代目川柳。「川柳はいふう」主宰。女子美術大学特別招聘教授。

1960年、東京生まれ。

15歳より「川柳公論」にて川柳入門、尾藤三柳に師事。24歳で十五代脇屋川柳に師事。

川柳を生きた文化として著述、講演、講座、川柳展、研究句会、新聞川柳、YouTube等で普及活動を行う。

編著書に『川柳総合大事典』、『目で識る川柳250年』、『川柳の楽しみ』、『短冊の書き方と鑑賞』、『ルネサンス原色再現事典』等多数。



## 講師：尾藤川柳氏

(びとうせんりゅう)

(十六代櫻木庵川柳)

／「川柳はいふう」主宰

／女子美術大学特別招聘教授)

## 2022年6月25日(土)

時間 14:30～16:30(開場14:00)

場所 台東区民会館(浅草駅より徒歩)  
9階・特別会議室(特)

※新型コロナ感染状況によっては、Zoomによるオンライン参加に変更となります。

コロナ対策のため事前申し込み制  
会員無料

(非会員は参加費1000円、学生500円)

申し込み方法：お名前・会員番号(非会員の方は「非会員」、学生の方は学校名)を記載し、メールにて申込み下さい。



主催：日本笑い学会関東支部

問合せ・申込先：un\_ei-01@warai-kanto-0808.org

ホームページ：http://www.warai-kanto-0808.org/